

形容詞

形容詞の活用には、「ク活用」と「シク活用」の二種類がある。

▼ク活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
なし	な	から	かり	し	き	けれ	かれ

▼シク活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
うれし	うれ	しから	しかり	し	しき	しけれ	しかれ

*ク活用とシク活用を見分けるには、形容詞の直後に動詞「なる」を付けて連用形にするよ。

○「なくなる」のように「く」となるものはク活用。
○「うれしくなる」のように「しく」となるものはシク活用。

*活用表の右側の活用を本活用、左側の活用を補助活用（カリ活用）と呼ぶ。直後に助動詞が続く場合は補助活用を用いるのが基本。

○語幹の用法

①名詞(a)+を+形容詞の語幹(b)+み || aがbなので

例 瀬をはやみ || 流れが速いので

*「を」はない場合もあるが、現代語訳は変わらない。

②感動詞+形容詞の語幹 || 感動的に言い切る。

例 あなかしこ。 || ああ恐れ多い。

形容動詞

形容動詞の活用には、「ナリ活用」と「タリ活用」の二種類がある。

▼ナリ活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
静かなり	静か	なら	なりに	なり	なる	なれ	なれ

▼タリ活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
堂々たり	堂々	たら	たると	たり	たる	たれ	たれ

*連用形の「なり」「たり」は直後に助動詞が続くときに用いられる。それ以外は「に」「と」が用いられる。

チエック問題

解答は左ページ

① 次の形容詞の活用の種類を答えよ。

- (1) めでたし
- (2) やんごとなし
- (3) きびし
- (4) ゆゆし

(4)

(3)

(2)

(1)

② 「けり」は連用形に接続する助動詞である。正しく活用しているのはどちらか、番号を答えよ。

- (1) うれしかりけり。
- (2) うれしくけり。

③ 次の中から形容動詞を抜き出せ。

- (1) 昔ありし家は稀なり。
- (2) いま静かに、御局にさぶらはん。
- (3) あららかに言ひて、きはまりなき放言しつ。

(3)

(2)

(1)

④ 次の()の中の形容動詞を正しく活用させよ。

- (1) (おろかなり) こと多し。
- (2) (もの言ひこそ) (おろかなり)。

(2)

(1)

チエック問題(16〜17ページ)解答

- ① (1) ク活用 (2) ク活用 (3) シク活用 (4) シク活用
- ② (1) (1) 稀なり (2) 静かに (3) あららかに
- ③ (1) おろかなる (2) おろかなれ

1 次の()の中の動詞を正しく活用させよ。

- ① 身の全く久しからむことをば(思ふ)ず。
- ② これを(見る)人涙を流さずといふことなし。
- ③ あるいは大家(滅ぶ)て小家となる。
- ④ 我(捨つ)て去りなば、ほとほと命も尽きぬべし。
- ⑤ 「いとやすし」と、(うなづく)をり。

⑤	③	①
	④	②

2 次の傍線部の動詞を終止形になおし(A)、活用の行と種類(B)、文中での活用形(C)を答えよ。

- ① 並み居る。
- ② 年ぞ暮るる。
- ③ 心得る人。

③	②	①
C	A	C
	B	B

3 次の傍線部の動詞の活用の種類(A)と活用形(B)を答えよ。

- ① 大将を犯す^現む現じたる。
- ② この人を具して去にけり。
- ③ 月の都の人まうで来ば、捕へさせん。
- ④ あやしき^待ひがごとどもにこそは待らぬ。
- ⑤ いとつつくしう、さまざまにおはす。

⑤	④	③	②	①
A	A	A	A	A
	B	B	B	B

4 次の傍線部がナ変動詞であれば活用形を答え、そうでない場合は解答欄にXをつけよ。

- ① ののしり笑ひければ、逃げ去りにけり。
- ② この下の渡にて、舟うち返して死ぬ。
- ③ 夜更けぬ、とにやありけむ、やがて往にけり。

③	②	①

5 次の()の中の動詞を正しく活用させよ。ただし、ひらがなで答えること。

- ① 丹後より使ひは(来)ずや。
- ② 木のまたにすゑんと(す)けるなり。
- ③ 高き山の峰の、下り(来)べくもあらぬに置いて逃げて(来)ぬ。

③	②	①

6 次の()の中の形容詞を正しく活用させよ。

- ① 昔の人は、いささかのことをも、(いみじ)自賛したるなり。
- ② (ありがたし)もの、しうとにほめらるるむこ。
- ③ いと(あやし)さまを人や見つらん。
- ④ 散ればこそいと桜は(めでたし)。

④	③	②	①

7 次の各文中から形容詞・形容動詞を抜き出し(A)、その活用形を答えよ(B)。

- ① 空だきの香、こころにくくかをりて、まことに優なり。
- ② 憂へなきを楽しみとす。
- ③ 心おのづから静かなれば、無益のわざをなさず。
- ④ あけて出で入る所たてぬ人、いとにくし。

④	③	②	①	
A	A	A	A	A
B	B	B	B	B

※①の解答は順不同。

8 次の傍線部を現代語訳せよ。

- ① 咲く花の下に隠るる人を多みありしにまさる藤の陰かげかも
- ② 山ふかみ春ともしらぬ松の戸にたえだえかかる雪の玉水なまぐ

②	①